

# 産業水道常任委員会会議記録

日 時 平成28年11月24日(木曜日)

午前10時 1分 開議

場 所 水戸市議会 第2委員会室

午前10時25分 散会

付託事件

(1) 所管事務調査

1 本日の会議に付した事件

(1) 報告事項

(第4回定例会提出予定案件)

① 水戸市農業委員会委員候補者選考委員会に関することについて

(農政課)

(2) その他

2 出席委員(7名)

委員長	栗原文隆君	副委員長	小川勝夫君
委員	綿引健君	委員	鈴木宣子君
委員	田口文明君	委員	渡辺政明君
委員	内藤丈男君		

3 欠席委員(なし)

4 委員外議員出席者(なし)

5 説明のため出席した者の職、氏名

副市長	田尻充君		
産業経済部長	小田木健治君	産業経済部 技監兼農業 環境整備課長	渡邊雅之君
商工課長	小林一仁君	観光課長	小川邦明君
農政課長	深澤和広君	農業技術 センター所長	清水健司君
公設地方 卸売市場長	綿引正治君		
水道事業者 管理者	檜山隆雄君	水道部長	関徳彦君
水道部参事	伊藤俊夫君	水道部参事兼 水道総務課長	小田木義弘君
水道部参事兼 経理課長	青木貴君	料金課長	島孝夫君
水道整備課長	橋本大敬君	給水課長	岡田隆君
浄水管理事務 所長	川原井正浩君		

農業委員会 江 幡 清 美 君 農業委員会 横 山 英 雄 君  
事務局 局長 事務 局長  
6 事務局職員出席者  
法制調査係長 井 原 真 彌 君 書記 玉 田 誠 一 君

午前10時 1分 開議

○栗原委員長 おはようございます。

定足数に達しておりますので、ただいまから産業水道委員会を開会いたします。

それでは、これより議事に入ります。

初めに、報告事項の説明を行います。

本日の報告事項1件につきましては、第4回定例会に提出が予定されております案件でございますので、本日は説明を行うにとどめ、質疑は付託後に行いたいと思っておりますので御了承願います。

それでは、水戸市農業委員会委員候補者選考委員会に関することについて、執行部より説明願います。

深澤農政課長。

○深澤農政課長 水戸市農業委員会委員候補者選考委員会に関することにつきまして、農政課提出の資料に基づき御説明申し上げます。

初めに、農業委員会制度につきましては、本年4月1日に改正農業委員会等に関する法律が施行となり、本市におきましては本年3月に、水戸市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例を制定し、新たな制度のもとでは、農業委員の定数を24名としたところでございます。

今回、御説明いたしますのはこの24人の候補者を選考するための委員会の設置についてでございます。

それでは、資料1ページをごらんください。

1の制定理由につきましては、農業委員会等に関する法律の改正により、農業委員会の委員の選出方法が、選挙制から市長の任命制に変更されたことに伴い、農業委員会の委員任命の過程の公正性及び透明性を確保するための必要な措置として、農業委員会の委員の候補者の選考を行う附属機関を設置するため、水戸市農業委員会委員候補者選考委員会条例を制定するものでございます。

2の制定内容につきましては、2ページ以降で御説明を差し上げたいと思っております。ページを返して、2ページを御参照願います。

主な内容につきまして、御説明申し上げます。

第2条、所掌事項といたしまして、選考委員会は市長の諮問に応じ、水戸市農業委員会の委員の候補者を選考することを所掌事項としております。

第3条、組織等でございますが、選考委員会は認定農業者、関係団体の役職員及び学識経験者のうちから、市長が委嘱する10人以内の委員をもって組織するとしております。また、第2項は農業委員の候補者となる者が、選考委員会の委員となることを禁止する規定でございます。

第4条につきましては、委員の任期について、そして第5条につきましては、委員長及び副委員長について規定をしているものです。

第6条は会議について、そして第7条につきましては、関係者の出席等について規定をしているものです。

第8条、委員の除斥につきましては、選考委員はみずからの親族やみずからが所属する団体から推薦を受けた候補者に関する議事に、参与できないことを規定しているものです。

第9条は、守秘義務について規定しているものです。

付則の1といたしまして、施行期日は公布の日からの施行を予定しているところでございます。

付則の2では、選考委員会の委員に報酬を支給するため、特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について、規定をしているところです。

ページを返していただき、4ページには参照条文を記載しております。

5ページには今後のスケジュール案を記載しております。スケジュール案について御説明いたします。5ページをごらんください。

平成28年12月、今回の案件につきまして、水戸市議会定例会に条例制定の議案として提出する予定でございます。平成29年1月から農業委員の推薦、募集の周知を行うとともに、選考委員会の委員の選定を行います。

2月には農業委員の推薦、募集を実施し、3月上旬に応募者の整理、公表を行います。

3月中旬から下旬、さらに4月上旬から中旬に選考委員会を複数回開催の上、市長へ答申を行います。

4月下旬に選考委員会の答申等を尊重した選任案を作成し、6月の市議会定例会に選任議案を提出するスケジュール案となっております。

なお、現職の農業委員会委員の任期満了日が、平成29年7月19日となっておりますので、任期満了後の7月20日に新たな委員を任命できるよう事務を進めてまいりたいと考えております。

説明は以上でございます。

○栗原委員長 以上で、第4回定例会提出予定案件の説明は終わりました。

〔「ちょっといいですか、質問じゃないんですが」と呼ぶ者あり〕

○栗原委員長 渡辺委員。

○渡辺委員 今、説明いただいたので、議会前ということもあるので、ちょっと資料をいただけるかどうかなんですけれども、いわゆるこれは農業委員会委員を選考する委員会に関してのことなんですけれども、この選考委員会の10名という人が決まりますね。その決まる過程とか、またその選考委員になる資格とかそういうルールみたいなものがあるかと思うので、いわゆるこの選考委員会の選考委員を選ぶ資料があれば、それをお願いしたいので、お諮りを願いたいと思います。

○栗原委員長 ただいま渡辺委員から資料請求がございましたが、いかがでしょうか。

〔「選考委員を選ぶ選考の規定があるかということでしょうか」と呼ぶ者あり〕

○渡辺委員 いわゆる、これは選考委員会が決まってからの話ですね。要は、その選考委員が一番大事、重要だと私は思うので、その選考委員を選ぶ手続とか、また資格とか基準とかルールとか、そういうものがあれば、そういうものをいただかないと、ここの部分が私は大事なかなと思って、資料があれば、それをお願いしたいということです。

○栗原委員長 ただいま渡辺委員から請求のありました資料につきましては、委員会として執行部に対して提出を求めたいと思いますが、いかがでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○栗原委員長 それでは、付託後に開催されます委員会に資料提出をお願いします。

ほかにございませんか。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

○栗原委員長 それでは、以上をもちまして本日の……

〔「その他やらなきゃだめだろうな」と呼ぶ者あり〕

○栗原委員長 ほかにございませんかと言ったら、その他ですよ。

渡辺委員。

○渡辺委員 その他で、ちょっとこれは今日の新聞に出ていたので、水道事業に関してなんですけれども、これ水戸市はもう先進的に取り組んでいると思うんですけれども、今日の読売新聞なんですけれども、水道施設運営権を民間委託というようなことで、全国の約1,300ある水道事業者のうち約半数は赤字であるというようなことで、国の制度としてね、法を改正して、民間にその事業を委託していく方針を決めたと、国会に提出すると、水道法の改正というようなことで。

内容は料金徴収や浄水場の運転管理の民間委託なので、これは水戸市はもう先進的に取り組んでいる部分ですよね、料金の徴収等を民間に委託しているというようなことでね。そして、これコンセッション方式と言うんですけれども、今皆さん方は、こういうもの、国の動きというのは、動向は把握しているんですか。

○栗原委員長 檜山水道事業管理者。

○檜山水道事業管理者 ただいまの渡辺委員さんの御質問にお答えいたします。

まず、今の件で国の動向を把握しているかというようなことでございますが、私どもも新聞に報道されていることと同等程度ではございますが、日本水道協会なども通じて動向を把握してございます。

○栗原委員長 渡辺委員。

○渡辺委員 先ほど、私は先進的とお話をしたように、水戸市は料金の徴収等はまだ民間に委託しているし、浄水場の管理も24時間体制ということもあって民間に委託しているというようなことで、少し先進的にも取り組んでいるというふうには思うんですけれども、このほかにね、何か考えられるような民間委託というものはあるのかな、水道協会なんかの話の内容の中で。新聞の報道では、例えば広域的な、例えば行政体が幾つかが集まって、いわゆる一体的な管理運営をしていくとかそういうようなことも、ちょっと新聞には載っているんですけれども、何かそういうものも考えられるようなものがあるんでしょうかね。

○栗原委員長 檜山水道事業管理者。

○檜山水道事業管理者 ただいまのお話にお答えいたします。

水道事業につきましては、全体的に収入が不足するようなところも、先ほどの新聞記事によりますと全国で5割程度は赤字事業体になっているというようなところで、国でもそれは大変大きな課題として取り上げているところでございまして、その効率的な事業運営というような視点から、水道事業の広域化を図るというようなことも、一つの施策として厚生労働省は考えなさいというようなことで、これは各都道府県に対して、都道府県が所轄するところについては、そういうものを検討しなさいというようなお話が来ております。

茨城県におきましても、先ごろ、たしか県の企業局のほうが音頭を取りまして、そういった中身について話し合いを始める、そういう委員会と申しましょうか、話し合う検討会を立ち上げたというふうに聞いてございます。ちなみに、私ども各市町村の事業体の代表という立場で、日本水道協会茨城県支部を日立市が持つておる関係上、今申しあげました検討会に日立市の事業管理者が加わって、その検討会が行われている

というような状況でございます。

中身の詳細については、まだ私どもに話がおりてくるほどの議論がなされていないようでございまして、まだ具体的な話については、私どもに情報としては入ってございません。

○栗原委員長 渡辺委員。

○渡辺委員 実はね、これを読ませていただいて、9月の決算特別委員会をちょっと思い浮かべたんですね。ということは、水道の水の需要、これからどんどん減ってくるという中で、水戸の場合、百年の計をもって楮川にああいう水源地を持ったというようなことで、ほかの市町村が水が枯渇しているときでも、水戸市は20日間は十二分に市民のためにそれが活用できるということになっておりまして、そういう視点からね、例えば周辺の市町村との水の需要と供給をきちっとしていくべきだろうと、それは足りないところに水戸の水を売るとかね、そういうことをこれから広域的な形の運営の仕方があるんじゃないかというような御指摘があったと思いますので、できれば、これから先、例えばあと40年後には人口は、今1億2,000万人くらいですけれども、9,000万人と日本の人口が出ているわけですね。ということは、それに伴って水の需要が減ってくるということは、もう数字的に見ても、統計的に見ても明らかという中で、やはり将来を展望したこういう方向性ももし出てきて、それが法令化するならばね、そういう部分もこれからはもっともう一步踏み込んだそういう取り組み、構想を考えていくことも必要なのかなと、今日の新聞を読んで感じたものですから、意見として述べておきます。

○栗原委員長 ほかにございませんか。

〔「あともう一ついい」と呼ぶ者あり〕

○栗原委員長 渡辺委員。

○渡辺委員 この間、商工課のほうを担当の産業祭ですか、県庁の旧れんが庁舎の広場でやったんですけれども、例えば数字的なものとかそういうものはまだ出てないのかな。ちょうど前の日が雨で、次の日は天気がよかったんですけれども、初めてやったという場所だったので、どういう反響とかあったのか、地元なのでちょっと聞かせていただければ、大変ありがたいと。

○栗原委員長 小林商工課長。

○小林商工課長 ただいまの渡辺委員さんからの産業祭に関する来場者数も含めた講評といたしますか、そういった御質問でございますが、私どもで水戸商工会議所のほうに確認を入れておりまして、初日はあいにくの天気だったので出足は鈍かったようなところはあるんですが、2日間のトータルで4万2,000人の来場があったというふうにかがっております。昨年度につきましては、以前御報告のとおり、両日とも天候に恵まれなかった点もありまして、昨年度よりも1万人近く来場者が増加しているということでございました。私どもといたしましても、まちなかで今回中心市街地で開催をさせていただきましたが、一定のにぎわいがつくられたのではないかとこのように考えております。

○栗原委員長 渡辺委員。

○渡辺委員 私は、土曜日は雨が降っていて、日曜日にも両方ちょっと見てきたんですけれども、商工関係の職員さんが、本当に一生懸命コマネズミみたいにね、中を歩いてサポートしたり、また、状況をいわゆる視察したりというようなことを見ていましたので、本当に雨の中の努力に敬意を表したいというふうに思っ

おります。

日曜日は、実は、結構入っていたんですけども、私の知っている限りだと芸術館で水戸市商店会連合会がイベントをやっていましたよね。また、千波湖をちょっと、あの辺を歩いていたんですけども、あそこでもやっていたね。茨城県民文化センターの前で茨城マルシェというのをやっていたね、そこも結構入っていたし、朝早くはね、みとちゃん朝市も黄門像のところ千波湖畔のところやっていましたし、非常にあちらこちらでイベントをたくさんやっています、水戸市内がイベントで結構人が動いたのかなというような気がいたしております。

それも含めてね、いわゆるイベントをどんどん、もう本当にあちこちでやっていたらっしゃるので、例えば今、商工会議所の人数のチェックとかね、例えばその事業の目的とかそういうものも含めて、終わった後に整理整頓をそれぞれしながら、例えばどこにどれくらい集まって、どういう回遊性、動きがあるのかとかね、そういうのも含めてこちらでやったので、水商連の芸術館のほうが集まらなかったとか、集まったとかいろいろ話を耳にしているの、何かその辺のところのいわゆる事業のバランスというんですかね、そういうのをよくチェックしながら、次年度に向けてさらに効率的で効果的な事業の展開を図っていただければというようなことを申しておきます。

○栗原委員長 内藤委員。

○内藤委員 ちょっと関連でね、これはまた来年も同じところでやるのか、それはまだわからないでしょう。

○栗原委員長 小林商工課長。

○小林商工課長 ただいまの内藤委員さんからの、開催場所についての御質問でございますが、おっしゃるとおり、これにつきましては、今後は、今回開催させていただきました課題点ですとか、よかった点などを総合的に検討させていただきまして、それぞれ商工会議所などの関係機関と十分協議しながら、開催を決定してまいりたいと考えております。

○栗原委員長 内藤委員。

○内藤委員 私もこの前、朝早く行ったんですけども、本当に見川町よりは、何となくこっちのほうがいいような気がする。場所と、それから中のつくりとか、下が芝生ということもあってね。ただね、問題点、私としてはあれ8時半からでしたっけか、始まるのが。何時だっけ、式典。8時半だっけ、9時だっけ。

〔「9時だ」と呼ぶ者あり〕

○内藤委員 私は8時半ちょっと前に行っちゃったんですよ。それで近くに親戚がいるからそこへとめようかなと思ったんですけども、まあ、中に入って何とか判こをもらって出てこようと、お金を払ってもいいからと思って真っすぐ行ったらば、私の前がちょうどバスだったんですね、ちょうど県庁の中に入っていくところね。青なのにそのバスが走らないのよね。何かかなと思って、こっちは乗用車だから見えないから、じっと待っていたの。そしたら、前の対向車が通り過ぎて、こっちが行こうと思ったら青が赤になって、まだ向こうが青で通り過ぎたらまたこっちが青になった。それでも進まない、バスが。ああ、このバスは中に入るのか、中に入るのに何かがあって入れないのかなと思って、私はじっと我慢していたの。だから、信号2回くらい待ったのかな。それでも動かないんだよね。これはまずいなと思って、そのちょっと車からおりて見

たれば、バリケードが置いてあったんだよね、県庁に入れないように。というのは、県庁が始まるのが恐らく8時半か9時、9時ではないよね、8時半だったと思うんだ、恐らく。ちょうど25分か27分くらいにいた。それでバスがとまっちゃったから、その裏の車は全部とまって、私はすぐ裏だったから車からおりて見たら、バスが入れないなら私らも入れないと。じゃ、そこのバスを脇へ出て抜いてね、左の前の茨城新聞社の方へ行って車をとめたんですけれども。またそういう施設を使ってやる場合は、例えば、県庁としては8時半にならなければ開かないと、どここの施設は、ここはもう決まっていて8時にならなきゃ開かないんだとかという場合に、恐らくそういうところを使う場合には、相手が水戸市じゃないからなかなか言えないだろうけれども、もしそういうときには、先方に話して8時半じゃなくて8時には開けていただけませんかとか、そういうことが大事なのかなと思った。

誰もが、水戸市内の住民が8時半にならなきゃ、あそこのバリケードがどかないなんていうことは誰もわからないものね、行ったことがない人は。だから、そういうときには前もって話をして、8時に開けてほしいとか、7時半に開けてほしいとかとそういうことも大事なのかなと、ふっと思ったんだけどね、あそこでやる場合ですよ。それから、もしくはほかの場所でも、水戸市以外のそういう場所を借りる場合、どこかを借りる場合には、やはりそういう時間帯のことも、向こうに合わせてやるのもわかりますけれども、とにかく市民の方が早く来られたら、あそこを開けなければ入れないわけだから、そういうこともね、これから気をつけてやってほしいなど、私は個人的に思いました。そこらを頭に置いてください。

○栗原委員長 ほかにございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○栗原委員長 それでは、以上をもちまして、本日の産業水道委員会を散会いたします。

御苦労さまでした。

午前10時25分 散会